

# 自己評価結果公表シート

平成 30 年度門真めぐみ幼稚園

## 1、園の教育目標

寺院より発祥した歴史的な基盤をもとに「あたたかい心の教育」を実践しています。それゆえに教育方針は「精神的には良寛上人に学び、その実践的技術は現代に学ぶ」を根底におき次のような「五つのちかい」により子どもたちの目標像を明らかにしています。

- 一、私たちは良き挨拶をする子どもになります
- 一、私たちは良きビジョンをもつ子どもになります
- 一、私たちは良く学ぶ子どもになります
- 一、私たちは良く感謝する子どもになります
- 一、私たちは良く奉仕する子どもになります

この「誓い」は仏教の「五正行」の教えをもとに考案し、子どもたち一人一人の生涯にわたる指針としても役立つものと考えています。

## 2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 本園の上記の方針に沿って、園児の「幼児期に育てほしい 10 の姿」を、園生活を通して相互に関連を持たせながらバランスよく総合的に養う。語の数が増える幼児期に絵本に楽しむこと、絵本のコーナーを充実「童話・童謡」に親しみを持つ。又古くから伝わる、こどもの日、七夕、お月見、ひな祭りなどの年中行事を園全体の「集い」とし、影絵、人形を使用し、子供たちに親しみながら興味を持たせる。三輪車を体育遊びに導入しアクティブラーニングを取り入れ、ルールを守ること、体を使って遊ぶことの楽しさを知り、体力向上を目指す。
- 預かり保育の保育内容を充実する。
- 地域との連携に取り組む。
- 幼少連携に取り組む。

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取 組 状 況
保育内容及び指導のあり方等を精査し、教職員間の共通理解をはかる	A	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 保育内容を充実させるために毎週学年ごとに話し合い子供の信頼関係を築き、子供の発達・興味を理解しアクティブラーニングを用いて保育の展開をしていく。</li><li>○ 日々の保育の延長上に「行事」（運動会・音楽会 etc）があること、経験することにより子ども一人一人が自信を持てるよう適切にかかわる。自由遊びの選択肢を増やすためにコーナー遊びを 2 学期より始める。</li><li>○ 安全管理については各保育室、遊具の点検票を作成し行っている。防災意識を高めるため、避難訓練を毎月保育の中に取り入れている。</li><li>○ 特別支援については一人一人個々により発達が違うので指導計画を立</li></ul>

		<p>て時には、市の発達相談を踏まえ、また保護者の意見も重視しながら個別支援計画を立てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食育については、給食時と赤・緑・黄色の色分けをもとに子どもたちと話し合う楽しい雰囲気の中で学べるよう工夫すると同時にマナーも学習。園庭に野菜を中心に四季折々の草花も育てている。クラスごとに夏野菜を栽培し、冬もカイワレ等を栽培している。</li> </ul>
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 絵画・制作では学年ごとに講師を招き、発達段階に沿った「あそび」を学び、子ども達に還元する。</li> <li>○ 表現遊びではリトミックを中心にリズムの会を開催し、他のクラスを見ることにより担任が学べる体制を採っている。</li> <li>○ 体育遊びは講師を招き、年間カリキュラムを作り行う。学期ごとに講師より研修を受けている。</li> <li>○ 外部研修に参加後はレポートを提出し、同時に保育に活かせるように考える。</li> </ul>
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 懇談会、行事終了後の保護者よりの手紙や幼稚園評価アンケートを通して保護者のニーズの把握をする。(行事等での子どもの姿だけでなく普段の保育の様子を見たいという声により、クラスごとの記録を年2回スライドショーとして上映した。)</li> <li>○ ミマモルメ導入により保護者の要望である保健衛生情報、例えばインフルエンザ、麻疹、水疱瘡等を手軽に知らせることが出来ている。</li> <li>○ 保護者の要望(クレーム等)は真摯に受け止め、園全体で把握、素早く対処し、終了で職員に共通理解をしている。</li> <li>○ 子供についての相談等、担任は時間の許す限り保護者とコミュニケーションを取るようにして信頼関係を築いていく。</li> </ul>
地域社会との連携	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市全体の中学の職業体験を受け入れている。</li> <li>○ 保護者や地域の方を対象に自転車講習を実施し、マナー向上を図った。</li> <li>○ 門真市スポーツレクリエーション大会に参加し鼓隊を演じ、その後、地域の人々の交流を図った。</li> <li>○ 大阪府交通安全母親研修会に参加、また園内で警察の交通課の方に交通安全教室を開催、防犯や交通安全意識の向上を図る。</li> <li>○ ラクダブドームでのテロ対策合同訓練に参加、防犯・防災の意識を高めた。</li> <li>○ 園庭開放やめぐみ広場を通して地域の人々と交流し、HP や園の正門、バス等で行事を周知し地域の安心できる遊び場として、又、子育てのセンター的な役割が果たすことができるよう努力している。</li> <li>○ 市の運営している「プラザ」で未就園児を対象に年に2回子育てを支援、2時間程度のプログラムを行っている。春・秋の交通安全・防犯キャンペーンに参加するなど、門真警察、門真市まちづくり課と連携を計っている。</li> <li>○ 盆踊り・花まつりと季節の行事に地域の方と交流している。</li> </ul>

情報公開	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園だよりやホームページで園の方針や教育活動などを伝えるように努めてきた。22年度より「毎日のできごと」等、クラス単位での活動をホームページで公開し、毎年さらなる充実を目指している。</li> <li>○ HP上に「情報公開」の項目を公開している。</li> <li>○ 子育て支援(園庭開放・めぐみ広場・さくらんぼ組)の日程をトップページの「おたより欄」に掲載し、地域の方々に伝えている。</li> </ul>
------	---	--

- A. 十分達成されている    B. 達成されている    C. 組み込まれているが、成果が十分ではない  
D. 組み込みが不十分である

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園の特色教育の充実に向け、自己点検、自己評価を実施することにより、更に日常の教育の見直しにつながった。今後も客観的に教育・保育を自らが捉えることにより、更に充実した実践が出来るように努力している。</li> <li>○ 日々の保育や行事の内容を検討し、見直していき、積み重ねを大切にしながら子供たちの自信や意欲につながるよう改善していく。</li> <li>○ 園が「子育て支援」の情報をHPで発信していくことにより地域とのつながりや家庭との連携を深める。</li> <li>○ 基本的な生活習慣の自立に向け、年齢に応じて指導を継続的に行っていこうと考えている。</li> </ul>
---	---

- A. 十分達成されている    B. 達成されている    C. 組み込まれているが、成果が十分ではない  
D. 組み込みが不十分である

#### 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
園に対する保護者の満足度の把握	保育内容については保護者の満足度が高いが、保護者からの要望により、行事時の注意喚起など、保護者同士のマナー向上に継続的に取り組んでいる。
子育て支援の充実	市よりの「幼稚園預かり保育事業」を受けたことにより休み中の預かり保育が充実。未就園児保育に加え、終了後も必然的に子育て相談が多くあるので、スキルを高めていきたい。
心を育てる教育	仏教園ならではの特徴性を生かし 1、教師や友達のかかわりを通して、思いやりや自己肯定感を育てていく 2、ルールやマナーを守り、相手の立場に立って考える等規範意識を育てていく。 上記を踏まえ、運動会・生活発表会・絵画制作展などの「行事」を通して、教師との関わりの中で自尊感情、自己有用感を育む。
教育・保育要領の改訂の方向性と整合性の確保	幼児期の終わりまで育ってほしい姿をアクティブラーニングの視点から保育内容を見直す為、職員研修の外部研修の機会を設けている。
インクルーシブ教育	様々な特性を持つ子どもと関わる中でお互いを認め合い助け合うことができるようクラスを編成し、思いやり、優しさを育てていきたい。
防災・防犯に対	880万人の訓練(今年度は中止)など、積極的に取り入れ毎日の避難訓練を通し、園

<p>する意識の向上</p>	<p>児への防災教育は徹底してきた。今後は保護者へ防災計画の周知を参観日・保護者説明会等で行う。</p> <p>平常時から防災力の向上を図っていくため紙芝居を通して子どもたちに防災教育を図る。年に一度、年中組が必ず消防署見学を実施し、消防士さんの触れ合いや実演、DVDを通し防災訓練などの実施している。</p>
----------------	---

## 学校関係者評価

- 3輪車を体育遊びで導入することによって、子ども達のバランス感覚を養い体力向上に繋がっていると感じました。
- 子どもたちにとって年中行事は大きな楽しみであり友達との関わりや大切さを学べ、心の成長にも大きな働きかけをしていると思いました。
- 先生と子ども達の関係性が良いと思いました。楽しむ時、集中する時等、その場その場での切り替えが出来ていたと思います。
- 先生の指示を聞き行動し、困っている子がいたら自ら進んで助けてあげる姿に、自主性が育っているなど感じました。
- 絵本コーナーを充実したことによって絵本を読む機会が増え、想像力が豊かになり色々なことに興味を持つようになったり、また親子の絆が深まるのでとても良かったと思います。
- 七夕の集いに影絵を取り入れていることを子どもが楽しそうに話していました。今後も「こどもの日の集い」「七夕の集い」「お月見の集い」など、日本の年中行事を子ども達に教えてほしい。
- 今年度、行事は雨天が多く運動会まで2度の台風に見舞われ、準備・後片付けを3回し大変だったので次回は考えてほしい。